

令和元年度  
商店街通行量調査  
結果報告書

令和2年（2020年）3月

熊本市・熊本商工会議所



# はじめに

現在の国の経済情勢については、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にあります。県内経済においても、再開発案件を中心に設備投資が高水準を維持しているものの、観光や住宅投資は弱含んでおり、個人消費も新型コロナウイルスの影響がみられます。雇用情勢については労働需給が引き続きひっ迫している状況にありますが、このところ幾分弱含んでいます。

そのようななか、商店街を取り巻く環境は厳しく、郊外大型店等の出店をはじめ、インターネットショッピングの普及など、小売業全体における競争が厳しさを増しています。また、人口減少や少子高齢化等の問題に加え、店主の高齢化や後継者不足といった様々な課題を抱えている状況にあります。

熊本地震の発生から、4年が経過しました。被災した商店街の復旧は徐々に進んでいますが、商店街の中には震災後に落ち込んだ通行量や売上高等が、未だ震災前の水準に回復していないところもみられるなど、本格的な復興には時間を要するものと思われます。

商店街の活性化を検討する上では、震災による影響を踏まえつつ、従来の商業集積地・消費地はもとより、住民の交流拠点・憩いの場としての機能、防犯や防災等の自治活動の主体・地域コミュニティの担い手としての役割の重要性が高まっていることを踏まえ、ニーズに応じた実効性のある取組みにつなげることが大切です。

本調査は、市内主要商業地の利用状況の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

令和元年度は10月25日（金）・10月27日（日）に市内44地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

令和2年（2020年）3月

熊 本 市

熊本商工会議所

# 目 次

## I 調査の概要

---

1. 調査の目的	1
2. 実施機関	1
3. 調査日時	1
4. 調査対象	1
5. 調査方法	1
6. 調査地点	1
(1) 調査地点数	1
(2) 調査地点の追加・調査地点名の変更	1
7. 令和元年度調査地点一覧	3
8. 調査地点図	4

## II 調査結果

---

1. 調査結果の概要	5
(1) 調査結果の前提	5
(2) 調査日の天候	5
(3) 前回調査以降の主な動き	5
2. 調査結果	6
(1) 全体の通行量(37地点合計)	6
(2) 商店街の通行量の内訳	7
①中心商店街の通行量	
②熊本駅周辺の通行量	
③地域商店街の通行量	
3-1. 地区別概要(前年度との比較)	10
(1) 中心商店街の地区別概要	10
(2) 熊本駅周辺・地域商店街の地区別概要	13
3-2. 通行量上位地点ランキング	15
4. 各地点の調査結果と平成30年度調査結果との比較	16
5. 進行方向別通行人数	17
6. 過去の調査結果一覧	19
7. 各調査地点の通行量詳細	25